

I PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
①	当該地域の介護保険事業の特徴を把握しているか。 【複数選択可】 ※エを選択する場合、イ又はウが該当していることが望ましい	ア 地域包括ケア「見える化」システムを活用している	○	5点		○ 以下の通り、「見える化」システム等を活用した分析の結果を記載 ①分析に活用したデータ ②分析方法、全国その他の地域(具体名)との比較や経年変化(具体的年数)の分析等、 ③当該地域の特徴 ④その要因を記載 ○ 上記について、既存の資料(審議会資料等)がある場合には当該資料の該当部分で可 ○ エについては、上記に加えて、ホームページによる公表等の住民や関係者との共通理解を進める取組の具体例を記載	ア・イ 令和3年10月に介護保険業務技術的助言の提出時に、見える化システムより、地域分析・検討結果記入シートを作成する予定。	引き続き「見える化」システム等を活用し保険者全体の特徴を把握する。また、住民や関係者への公表に努める。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 保険者全体の特徴を把握している	○	5点					
		ウ 日常生活圏別の特徴を把握している	×	0点					
		エ 特徴について住民や関係者に公表している	×	0点					
②	給付実績の計画値と実績値との乖離状況とその要因を考察しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順(例えば、アに該当すればイを、イが該当すればウといった順序。以下同じ)で該当することが望ましい	ア 定期的にモニタリング(点検)を行っている	○	5点		○ モニタリング実施日を記載する ○ 考察結果を提出 ○ ウについては、公表した資料の名称、公表時期及び公表場所(HP)等を記載 ○ エについて、見直した内容の概要を記載	○【モニタリング実施日】R2.9.24 ○【資料名】府中市介護保険事業実績報告 ○【公表場所】高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会及び市ホームページにて公表 ○【公表時期】R2.10.8	継続実施	介護保険課介護サービス係
		イ 計画値と実績値との乖離状況の要因を分析している	○	5点					
		ウ モニタリング・考察結果を運営協議会等で公表している	○	5点					
		エ 結果を基に、サービス提供体制の見直しを行っている	×	0点					
③	自立支援、重度化防止等に資する施策について、目標が未達成であった場合に具体的な改善策や目標の見直し等の取組を実施しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	ア 年に1回以上、実績を踏まえた進捗管理を行っている	○	5点	5点	○ 把握した実績を提出。そのうえで、未達成の場合は、その改善策や目標の見直し等の取組を提出 ○ エについては、公表した資料の名称、公表時期及び公表場所(HP)等を記載	ア・イ 地域交流体操利用状況について、令和2年度実績が延べ人数11,456人を把握。毎月包括支援センターより報告もあり。 コロナ禍のため、令和2年度実績は目標未達成。 ウ 現場担当増員などに取り組んでいる。 エ 令和2年度事務報告書(令和3年8月31日 市ホームページ公開)	継続実施	介護保険課介護保険制度担当 高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 年に1回以上、評価を行っている	○	5点	5点				
		ウ 改善・見直し等の取組を実施している	○	5点	5点				
		エ 進捗管理の結果をホームページ等で公開している	○	5点	5点				
④	当該地域の介護保険事業の特徴を他の地域と比較して分析の上、介護給付の適正化の方策を策定し、実施しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	ア 当該地域の介護保険事業の特徴を他の地域と比較・分析し、方策を策定している。	○	5点		○ 第8期計画又はその他の方策における該当部分を提出 ○ 地域差の分析内容と策定した方策の実施状況を具体的に記載 ○ ウについて、方策の改善・見直し等を行うプロセスの概要を記載 ○ エについて、公表時期、公表場所等を記載 ※ 地域差の分析内容と策定した方策の実施状況を記載した資料がある場合は、記載ではなく添付可。	ア・イ 第8期計画策定にあたり、「地域別高齢化率」・「地域別認定率の比較」「地域別第1号被保険者1人当たりの給付月額」を用いて近隣市の状況を把握。これらより近隣市との概ね均衡が保たれていることを踏まえたうえで、要介護認定の適正化を行っている。 ウ 策定した計画については、協議会にて、改善見直し等を行うプロセスはある。 エ 改善した場合は、次期計画時には反映され、ホームページにて公開される。	同様の方法により地域分析をしたうえで、給付の適正化に向けた取組を継続的に実施する。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 策定した方策に沿って実施している	○	5点					
		ウ 方策の改善・見直し等を行うプロセスがある	○	5点					
		エ 方策の改善・見直し等の取組結果を公表する機会がある	○	5点					
⑤	管内の住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の情報を市町村介護保険事業計画の策定等に活用しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	ア 必要な情報を入手している	○	5点		○ 第8期計画における該当部分を提出 ○ 都道府県等との意見交換の概要を記載 ○ 分析結果及び活用内容を具体的に記載 ※ 分析結果及び活用内容を記載した資料がある場合は、記載ではなく添付可。	○Microsoft Teams等によるオンラインでの意見交換の体制が整えられており、必要に応じて実施する。 ○市内における住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅棟の設置状況を把握するとともに、新規開設の情報を東京都等から情報収集する。そのうえで、市民や介護事業所等を対象としたアンケート調査結果から需要と供給状況を把握し、介護保険事業計画の策定に活用している。	第9期府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の際に情報を活用する。	介護保険課施設担当
		イ 都道府県等との意見交換を実施している	○	5点					
		ウ 入居実態等を分析する体制がある	○	5点					
		エ 分析結果を計画策定に活用している	×	0点					

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当	
⑥	【複数選択可】 ※ウを選択する場合、ア、イのいずれかが該当していることが望ましい。 ※ア、イはいずれかを選択	ア 要介護者等に対するリハビリテーション提供体制に関して分析を踏まえ施策の改善策や目標の見直し等の取組を実施しているか。	ア 市町村介護保険事業計画に目標を設定し、現状把握とそれを踏まえた分析を実施している。	○	5点	5点	○ 第8期計画に目標を設定している場合には該当部分を提出 ○ 分析結果及び取組内容を具体的に記載 ※分析結果及び取組内容を記載した資料がある場合は、記載ではなく添付(改善・見直しとその結果についてHPに掲載している場合はURL)も可	第8期府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に設定。通いの場や介護予防教室及びケアプランに対する助言者としてリハビリテーション職を派遣する。11か所の地域包括支援センターに各13回ずつ派遣。継続して介入することで効果があった。	継続実施	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		イ 市町村介護保険事業計画に目標設定はしていないが、市町村介護保険事業計画のPDCAサイクルに沿った取組を進める中で、現状把握を踏まえた分析を実施している	×	0点	0点					
		ウ 分析にあたり、医師会等の関係団体の意見を聞いている	×	0点	0点					
		エ 分析に基づいて施策の改善・見直し等を実施している	○	5点	5点					
				府中市	90	30				
				全国平均	66.0	18.5				
				都平均	84.8	23.6				

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進

(1) 介護支援専門員・介護サービス事業所等

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
①	【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	ア 保険者の方針に沿った地域密着型サービスの整備を図るため、必要性や取組内容について計画・実行・改善のプロセスを実行しているか。	ア 地域密着型サービスの現状把握の結果を踏まえ、整備の必要性を検討している	○	5点	○アについては、必要性を検討しているものがわかる資料 ○イ、ウについては、取組、改善・見直し内容を具体的に記載 ○エについては、公表した資料の名称、公表時期及び公表場所(HP)等を記載 ※具体的な改善、見直し、取組内容を記載した資料がある場合は、記載ではなく添付も可。	ア 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)(P86)にて基盤整備等の必要性を記載している。 イ 参入希望する事業所に個別相談の対応をしている。 ウ 第7期計画の実績を踏まえ第8期において公券のグループホームの事業所選定を設定している。 エ 令和3年3月に府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)にて公表。	今後も、参入について、問い合わせや相談があった事業者に対して、公募の情報提供や参入の意思確認を個別に行い、事業整備実施に努める。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 地域密着型サービスの整備のための取組を実施している	○	5点					
		ウ 改善・見直しをしている	○	5点					
		エ 検討結果や整備状況を公表している	○	5点					
②	【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	ア 保険者として、ケアマネジメントに関する保険者の基本方針を、介護支援専門員に対して伝えているか。	ア 保険者として、ケアマネジメントの基本的な考え方について議論している	○	5点	○保険者のケアマネジメントに関する基本方針を伝えるためのガイドライン又は文書を提出 ○イについては、介護支援専門員にどのように基本方針を伝えているか概要を記載 ○ウについては、介護支援専門員や事業者等に文書でどのように周知したか及び実施日を簡単に記載 ○エについては、効果検証の概要を記載	ア 集団指導資料作成時など随時検討している。	同様に、ケアマネジメントの基本的な考え方について、検討する。状況に応じて、事業所連絡会などの機会も活用して、周知を図る。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 基本方針をHPや書面等で広く周知している	×	0点					
		ウ 基本方針を事業者連絡会議、研修又は集団指導等で対象を特定して周知している	×	0点					
		エ 周知方法の効果検証を行っている	×	0点					
③	【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	ア 高齢者虐待防止にかかる体制整備を実施しているか。	ア 管内の高齢者虐待の実態に基づいた課題を把握している	○	5点	○アについては実態に基づいた課題の概要を記載 ○イについては、検討する機会・場、日時を具体的に記載 ○ウについては、計画内容が分かる資料を添付 ○エについては、具体的な実施内容と評価を記載	ア 家族の介護負担、本人や家族が病状の認識が不十分なための不適切な対応、経済的困窮等 イ 高齢者支援課と各包括支援センターでの年2回の会議、権利擁護担当者連絡会での協議 エ 相談窓口の周知、担当地区会議の開催、高齢者虐待対応と養護者支援、必要時の措置等	ア 継続実施 イ 高齢者支援課と各包括支援センター会議の日時(実施済:R4.10.11、R4.10.13、R4.11.18) その他の予定は今後決定予定。 権利擁護担当者連絡会:残り3回実施予定 エ 継続実施	高齢者支援課高齢者相談窓口
		イ 管内の高齢者虐待の実態に基づいた課題について、他機関とその防止対策を検討する機会・場を設定している	○	5点					
		ウ 市町村の虐待防止対策についての計画を策定している	○	5点					
		エ 計画に基づいて実施し、評価を行っている	○	5点					

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
④	管内のすべての介護事業所に対し、事故報告に関する支援を行っているか。 【複数選択可】 ※イを選択する場合、アが該当していることが望ましい	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア サービス提供による事故報告に関するガイドラインを策定している	○	5点	〇アについて、策定したガイドラインの名称を記載 〇ウ、エについて、仕組みの概要を記載	ア 府中市介護保険事業者等における事故発生時の報告取扱要領にて策定 イ 年度単位で報告結果をまとめている。 ウ・エ 年に一度、集団指導の機会に前年度の結果を介護事業所に共有し、事故として多い事例をあげ、問題点などを市として示している。	今後も同様に取り組んでいく。	介護保険課介護保険制度担当
			イ 事故報告結果をとりまとめている。	○	5点				
			ウ 事故報告結果を管内の介護事業所に共有する仕組みがある	○	5点				
			エ 事故の内容・結果について、対応方法に関する議論・検証を行う仕組みがある	○	5点				
⑤	管内の介護事業所と定期的に災害に関する必要な訓練を行っているか。 【複数選択可】 ※イ、ウ、エを選択する場合、アが該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 介護担当部局が危機管理部局等の関係機関と連携を図る体制がある	×	0点	〇イについて、訓練実施日及び訓練内容の概要を記載 〇ウについて、指導内容を具体的に記載 〇エについて、仕組みの概要を記載 ※ウについては、介護事業所へ提出した指導内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	介護保険事業所が実施する訓練に市が協力することについて検討する。	今後も同様に取り組んでいく。	介護保険課介護保険制度担当
			イ 災害に関する必要な訓練を定期的に行っている	×	0点				
			ウ 訓練結果を踏まえて、指導を行っている	×	0点				
			エ 訓練結果や指導内容について、他の介護事業所に共有する仕組みがある	×	0点				

(2)地域包括支援センター・地域ケア会議

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
①	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村の基本方針を定め、地域包括支援センターに周知しているか。	2021年度(予定)実施の状況を評価	×	0点		〇基本方針を提出		よりよいケアマネジメントの在り方について、引き続き検討を行っていく。	高齢者支援課地域包括ケア推進係
②	地域包括支援センターの体制充実(※)による適切な包括的支援事業を実施しているか。 ※ 地域包括支援センターの3職種(準ずる者を含む)一人当たり高齢者数(圏域内の第1号被保険者数/センター人員)の状況により評価 ※ 小規模の担当圏域における地域包括支援センターについては配置基準が異なるため以下の指標を満たした場合アを選択することとする。 担当圏域における 第1号被保険者の数が概ね2,000人以上3,000人未満: 1,250人以下 第1号被保険者の数が概ね1,000人以上2,000人未満: 750人以下 第1号被保険者の数が概ね1,000人未満:500人以下 【複数選択可】 ※イに該当すればアも得点	II(2)②計算用を使用して計算 2021年4月1日時点における配置状況が対象	ア 1,500人以下	○	5点	5点	〇市町村内の地域包括支援センターの平均値を提出	継続実施	高齢者支援課地域包括ケア推進係
			イ 1,250人以下	○	5点	5点			
③	地域包括支援センターの体制充実(※)による適切な包括的支援事業・介護予防ケアマネジメントの実施をしているか。 ※ 地域包括支援センターの3職種(準ずる者を含む)の配置を満たしていることに加え、その他専門職や事務職の配置状況 【複数選択可】 ※イに該当すればアも得点	2021年4月1日時点における配置状況が対象	ア 半数以上の地域包括支援センターに配置	○	5点	5点	〇 受託法人に示している委託契約書、委託方針等(複数のセンターについて同一の契約書を用いている市町村の場合は、提出資料は1か所のみで可。また、当該箇所の抜粋のみで可)を提出。直営の場合は、組織規則等(該当部分の抜粋で可)を提出	継続実施	高齢者支援課地域包括ケア推進係
			イ 全ての地域包括支援センターに配置	○	5点	5点			
④	個別事例の検討等を行う地域ケア会議における個別事例の検討件数割合はどの程度か。(個別事例の検討件数/受給者数)	2020年4月から2020年12月末までに開催された地域ケア会議において検討された個別事例が対象	ア 全保険者の上位8割		5点	5点	83 ←実際の数値(個別事例の検討件数)を提出	個別事例検討の継続実施 ・令和2年度 129件 ・令和3年度 168件 ・令和4年度 113件(12/7時点)	高齢者支援課高齢者相談窓口 高齢者支援課地域包括ケア推進係
			イ 全保険者の上位5割		5点	5点			
			ウ 全保険者の上位3割		0点	0点			
			エ 全保険者の上位1割		0点	0点			

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
⑤	地域ケア会議において複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村へ提言しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況の評価	ア 地域ケア会議において複数の個別事例から地域課題を明らかにしている	○	5点	○提言・対応の概要を一つ記載 ○ウ、エについては、対応内容及び検証の結果を具体的に記載 ※具体的な対応内容及び検証結果を記載した資料がある場合は、記載ではなく添付も可	「エ 対応した結果が検証されている」については、今年度実施予定の為、資料無し。	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)に地域ケア会議から得られた課題を記載し、具体的な取組を示している。 また、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会に取組の進捗状況を評価・報告している。 今後も継続実施。	高齢者支援課地域包括ケア推進係
			イ 地域課題を解決するための政策を市町村に提言している	○	5点				
			ウ 市町村が地域ケア会議から提言された内容に対応している	○	5点				
			エ 対応した結果が検証されている	○	5点				
⑥	地域包括支援センターが夜間・早朝又は平日以外の窓口(連絡先)を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。 【複数選択可】 ※ウ、エを選択する場合、ア及びイが該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況の評価	ア 夜間・早朝の窓口(連絡先)を設置している	○	5点	○ア～エについて、実際の対応状況等の概要を記載	ア 夜間・早朝も電話の受付が可能 イ 土日に窓口対応していない場合でも、電話の受付が可能。 ウ パンフレット、冊子、ホームページ等で周知している。	継続実施。	高齢者支援課地域包括ケア推進係
			イ 平日以外の窓口(連絡先)を設置している	○	5点				
			ウ 住民に窓口を周知している	○	5点				
			エ 特に周知が必要と想定される人への個別周知をしている	×	0点				
⑦	地域包括支援センターでは、家族等の介護離職防止に向けた支援を実施しているか。 【複数選択可】 ※イを選択する場合、アが該当していることが望ましい	2021年度(予定)実施の状況の評価	ア 家族介護者等の介護離職防止の相談に対応している	○	5点	○ア～エについて、実際の取組状況等の概要を記載 ※エについては、具体的な取組内容がわかる資料がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 家族介護者教室の開催 イ 冊子に記載	継続実施。家族介護者教室を実施している。(12月1日時点で15件)	高齢者支援課地域包括ケア推進係
			イ 家族介護者等に対し、介護離職防止の相談ができることを周知している	○	5点				
			ウ 地域に出向いて介護離職防止に関する相談会を実施している	×	0点				
			エ 専門職・関係機関と連携した取組を実施している	×	0点				

(3)在宅医療・介護連携

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
①	地域の医療・介護関係者等が参画する会議において、市町村が所持するデータ等に基づき在宅医療・介護連携に関する課題を検討し、対応策が具体化されているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エ→オの順に該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況の評価	ア 今後のニーズを踏まえた過不足のない在宅医療と介護の提供体制の目指すべき姿を設定している	○	5点	○第8期計画における在宅医療・介護連携に該当する部分を提出 ○評価指標の提出 ○ウについて、抽出した課題の概要を記載 ○エについて、目標の設定、具体化された対応策を記載 ○オについて、検証や見直しを行う仕組みの概要を記載 ※ウ、エについては、具体的な取組内容 がわかる資料がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期) イ 地域資源調査の実施R3.9. (対象:府中市医療機関介護事業所検索サイト登録事業所) ウ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)P37 エ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)P69.93 オ 連携推進アンケート実施(R3.8)、研修会等でもアンケート実施し、在宅医療・介護連携会議での協議、見直しを実施	継続実施	高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ 地域の人口推計を踏まえた今後のニーズや医療・介護資源、社会資源や利用者の情報、住民の意向等を定量的な情報も含めて把握している	○	5点				
			ウ アとイの差の確認等により、地域の実状に応じた課題の抽出を行っている	○	5点				
			エ 抽出された課題に基づき、地域の特性を踏まえた目標の設定、具体的な対応策を立案している	○	5点				
			オ 評価指標等に基づき事業の検証や必要に応じた見直しを行う仕組みを設けている	○	5点				

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記事事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
②	在宅医療と介護の連携について、医療・介護関係者への相談支援を行っているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 医療・介護関係者が把握できるよう相談窓口が公表されている	○	5点	○ア～ウについて、実際の取組状況や仕組みの概要を記載 ※アについては、ホームページに掲載していればURLの添付、それ以外の方法で周知(例えばチラシなど)していれば、実際に配布している資料の添付も可 ※イについては、共有した資料や取組の内容がわかる資料がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 在宅療養相談窓口チラシ等により市民や関係機関へ周知 イ 包括が把握した相談について、困難事例、好事例等4半期に1回市に報告 ウ 訪問看護等との事例の共有予定 エ 事例について、包括担当者連携会議で振り返り、連携会議等に諮る	継続実施 イ・エについて、地域包括支援センター在宅療養担当者連絡会で提出・共有(隔月) R4.3月 「市内病院相談窓口一覧」作成	高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ 定期的に相談内容等を取りまとめている	○	5点				
			ウ 医療・介護関係者間で共有している	○	5点				
			エ 取りまとめた相談内容に基づき、事業の検証や必要に応じた見直しを行う仕組みを設けている	○	5点				
③	患者・利用者の状態の変化等に応じて、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が実施できるよう、具体的な取組を行っているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順で該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 既存の情報共有ツールの活用状況を確認している	○	5点	○ア～ウについて、実際の取組状況等の概要を記載 ※アについては具体的な取組の内容、ウについては意見等の内容がわかる資料がある場合は、記載ではなく添付も可	ア MGSの活用に向け、連携会議での課題の共有や取組の推進等関係者間で共有 イ 「入院時情報提供書」 ウ 「入院時情報提供書」活用状況・入院時退院時連携に関するアンケート(R3.8月実施) エ ウの結果について、在宅医療介護連携会議入院支援部会に諮る予定(R3.10月)	継続実施 エについて 府中市入院時情報提供書改定(R4.3月)	高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ 在宅での看取りや入退院時等に活用できるような医療・介護関係者の情報共有ツールを作成している	○	5点				
			ウ 活用に向けた見直し等を行っている	○	5点				
			エ 情報共有ツールの活用状況、医療・介護関係者の双方の意見等を踏まえて、改善・見直しを行っている	○	5点				
④	在宅医療・介護連携を推進するため、多職種を対象とした研修会を開催しているか。 【複数選択可】 ※ウを選択する場合、ア又はイが該当することが望ましい。 ※エを選択する場合、ウが該当することが望ましい。	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 企画に当たり、他の関連する研修を把握している	○	5点	○ア～エについて、実際の取組状況、研修会の内容を記載 ※ウについては研修の内容がわかる資料、エについてアンケート結果等の検証の内容が確認できる資料がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 関連部署で実施している研修会の内容について把握している イ 研修会等で実施しているアンケートからニーズを把握し、企画している ウ グループワークを取り入れた多職種研修会を予定(R3.11月) エ 研修会終了後にはアンケートを実施し検証予定	継続実施	高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ 企画にあたり、医療・介護関係者のニーズを把握している	○	5点				
			ウ 在宅医療・介護連携に係る参加型の研修会を開催(支援)している	○	5点				
			エ 研修の結果について検証を行っている	○	5点				
⑤	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を推進するため、庁内や郡市区等医師会等関係団体、都道府県等と連携を図っているか。 【複数選択可】	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 郡市区等医師会等関係団体、医療機関、介護サービス施設・事業所等と連携体制を構築している	○	5点	○ア～ウについて、具体的な運用や検討状況の概要を記載 ※ア～ウについては、内容がわかる資料がある場合は、記載ではなく添付も可	ア(1) 府中市在宅医療・介護連携会議(部会)普及啓発部会、連携推進部会、入院支援部会、認知症部会※内容については、添付資料(会議要領参照) (2) 府中市医師会在宅療養24時間バックアップ体制の構築に向け、市の補助事業として医師会との連携を進めている。 イ 府中市災害時人工呼吸器等使用者支援連絡会出席予定 ウ 東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキンググループ出席予定、府中市在宅医療・介護連携会議	継続実施	高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ 庁内の他部門、関係団体等と連携し、災害・救急時の対応等に参画している	○	5点				
			ウ 都道府県の医療計画・地域医療構想との整合性をとるため、都道府県と連携を図っている	○	5点				

(4) 認知症総合支援

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記事事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
①	市町村介護保険事業計画又は市町村が定めるその他の計画等において、認知症施策の取組を定め、毎年度その進捗状況について評価しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	第8期計画への記載が対象。または、市町村が定める他の計画でも構わないこととする。(2021年度(予定)実施の状況を評価)	ア 認知症高齢者について、実態を把握している	○	5点	○第8期計画の該当部分を提出 ○アについて、実態把握の内容を具体的に記載 ○イについて、設定した指標の概要 ○ウについて、第三者の意見の場合は評価会議、打合せの内容(特に評価手法)、実施日時について概要を記載し、当事者の意見の場合は、意見聴取対象者、実施日時、聴取内容を具体的に記載 ○エについて、検討内容(改善・見直し等の方法)の概要を記載 ※ア、ウについては、内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可。	ア 年齢別の認知症高齢者の割合。また、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第8期)策定のために実施したアンケートで、市民の支援ニーズの把握に努めた。 イ 別紙参照 ウ 毎年、年度ごとの施策の進捗状況をまとめ、学識経験者や社会福祉関係団体の構成員などから成る高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会に報告している。 エ 毎年、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会に改善点・今後の方向性を報告している。	継続実施	高齢者支援課地域包括ケア推進係 高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ 認知症施策の進捗を図る指標を設定している	○	5点				
			ウ 進捗状況の評価にあたり、第三者あるいは認知症当事者(認知症の人やその家族)の意見を聞いている	○	5点				
			エ ア～ウを踏まえて、改善・見直し等の検討を実施している	○	5点				

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当	
②	認知症初期集中支援チームは、定期的に情報連携する体制を構築し、支援を必要とする者への対応を行っているか 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア チームが円滑に支援を実施できるよう、医師会等の関係団体、かかりつけ医や介護支援専門員等とあらかじめ情報連携の体制を構築している	○	5点	5点	○アについては、取組内容(情報連携を行う手段、その実施頻度)の概要を記載 ○イについては、検討内容の概要を記載 ○ウについては、他機関連携による支援内容の概要を一つ記載 ○エについては、検討内容(改善・見直し等の方法)の概要を記載	ア 初期集中支援チームの関係者向け説明チラシを作成し、各職種の連絡会等で説明し、協力を得ている。 イ 精神科の医師が専門医で訪問するため、認知症か妄想性障害かの判断がチーム導入日当日(訪問日)になされ、早急に精神科病院へのつなぎと入院に至れた。 ウ 病院や包括への不感から介入の難しかった方に、チーム員(OT)が訪問を継続し、訪問マッサージにつなげ、医療にもつながった。 エ 年1回、在宅医療・介護連携会議認知症部会にてチーム員活動について検証している。	継続実施	高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ チームが関係機関と連携して、支援対象者に対する主な支援機関を早急に明確にするよう検討を行っている。	○	5点	5点				
			ウ 対象者の状況に応じて、他機関連携等により具体的かつ多様な支援を実施している	○	5点	5点				
			エ チームの活動について、改善・見直し等の検討を実施している	○	5点	5点				
③	郡市区等医師会等の医療関係団体と調整し、認知症状のある人に対して、専門医療機関との連携により、早期診断・早期対応に繋げるための体制を構築しているか。 【複数選択可】	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 認知症に対応できるかかりつけ医や認知症サポート医、認知症疾患医療センター等の専門医療機関との連携体制がある	○	5点	5点	○アについては、連携体制の概要を簡潔に記載 ○イについては、周知内容の概要を記載 ○ウについては、連携ルールの概要を記載 ○エについては、スクリーニングの実施方法の概要を記載	ア 認知症疾患医療センター長が医師会理事を担っていることもあり、地域の医師との顔が見える関係が出来ており、認知症疾患医療センターと認知症サポート医の連携が図られ、地域の医師から疾患医療センターへつなぎ、再び地域に戻るという形ができています。 イ 府中市医師会にも忘れ相談医としての登録を依頼し、登録医と認知症サポート医のリストを作成して、ホームページや冊子に掲載し、周知している。(毎年更新している) ウ 市独自に作成した「もの忘れ相談シート」を、市民が医療機関受診の際に活用。医師やケアマネや包括等が連携のためにも活用。	継続実施	高齢者支援課在宅療養推進担当
			イ 認知症に対応できるかかりつけ医や認知症サポート医、認知症疾患医療センター等の認知症の医療に関する相談窓口の周知を行っている	○	5点	5点				
			ウ 情報連携ツール等を活用して、関係者間で連携ルールを策定している	○	5点	5点				
			エ 医療・介護専門職によるスクリーニングを行っている	×	0点	0点				
④	地域における認知症高齢者支援の取組や認知症の理解促進に向けた普及啓発活動を行っているか 【複数選択可】	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 認知症カフェの設置・運営の推進	○	5点	○ア～エについては、取組内容を具体的に記載 ※取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア・イ・エ 本庁の認知症地域支援推進員が企画立案に関与。 ウ 包括の推進員が企画立案に関与している ア ・市内の認知症カフェの立ち上げや運営支援、周知等の協力を行っている。 ・認知症カフェ補助金を実施。 イ 「高齢者見守りネットワーク事業」として、地域で高齢者の何らかの異変を察知したときに地域包括支援センターや市に通報してもらい体制を構築している。また、「探索依頼情報周知事業」として、家族等からの依頼により徘徊行方不明高齢者の捜査情報を地域包括支援センター等に周知する体制をとっている。 ウ 地域包括支援センターにて家族介護者教室を懇談会形式と教室形式で実施。介護者応援ボランティアを育成し、市内3か所の介護者の会の運営支援を行っている。 エ オンラインのタウンミーティング(講演会)にて、地域の若年性認知症の本人が地域の人との支え合いとつながりの中で、自分のできることを実践しているという姿を伝えられた。	継続実施。 認知症カフェについては、令和4年12月に新たに1か所開設。	高齢者支援課地域包括ケア推進係	
			イ 認知症の人の見守りネットワーク等の体制の構築	○	5点					
			ウ 本人ミーティング、家族介護者教室の開催やピアサポーターによる活動の支援	○	5点					
			エ 認知症当事者の声を踏まえながら、認知症の理解促進に関する参加型のイベントや、講演会・勉強会などの普及啓発を行っている	○	5点					

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
⑤	認知症サポーターを活用した地域支援体制の構築及び社会参加支援が行えているか。 【複数選択可】 ※ウを選択する場合、イが該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況評価	ア 認知症サポーターステップアップ講座を実施している	×	0点	○イについては、ステップアップ講座の実施日、取組内容の概要を記載 ○ウについては、活動グループの設置日、活動内容の概要を記載 ○ア及びエについては、取組内容を具体的に記載 ※ア、エについて、取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	検討を行っていく。	(ア)については令和4年度に年間3回実施予定。	高齢者支援課地域包括ケア推進係
			イ ステップアップ講座を修了した認知症サポーターによる支援チーム等の活動グループ(チームオレンジなど)を設置している	×	0点				
			ウ イによる活動グループ(チームオレンジなど)を介して、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につながるよう、地域の担い手とのマッチングを行っている	×	0点				
			エ 認知症の人が希望に応じて農業、商品の製造・販売、食堂の運営、地域活動やマルシェの開催等に参画できるよう、支援している	×	0点				

(5)介護予防/日常生活支援

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
①	関係機関との意見交換や都道府県等による継続的な支援等を踏まえ、介護予防・生活支援サービス事業における多様なサービス(※)及びその他の生活支援サービスを推進するための課題を明らかにした上でそれに対応する方針を策定するとともに、実現に向けた具体的な方策を設定・実施しているか 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況評価	ア 多様なサービス及びその他の生活支援サービスを推進するための課題を明らかにしている	×	0点	○関係機関との意見交換等の検討経過 ○イについては、策定した方針の名称を記載 ○ウについては、方策を具体的に記載 ○エについては、取組内容(どのような見直しをしたか)の概要を記載 ※ウについて、方策を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	検討中	東京都短期集中予防サービス強化支援事業を受け、介護予防・生活支援サービス事業の今後の体制について、R4年度の後半から会議体を持ち、検討中。サービスCの内容のみではなく、総合事業全体の方向性について検討していく方針。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
			イ 対応する方針を策定している	×	0点				
			ウ 課題への対応方針の実現に向けた具体策を実施している	×	0点				
			エ ア〜ウを踏まえて、取組内容の見直しを行っている	×	0点				
②	サービスC終了後に通いの場等へつなぐ取組を実施しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況評価	ア サービスC(短期集中予防サービス)を実施している	○	5点	○アについては、サービスCの実施状況の概要を記載 ○イについては、仕組みの概要を記載 ○ウ、エについては、取組内容を具体的に記載 ※ウ、エについて、取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア〜エについて別紙参照	東京都短期集中予防サービス強化支援事業を受け、来年度からの本格実施に向け、改善・見直しを実施している。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
			イ 地域ケア会議等を活用し、通いの場を含むサービスC終了後のつながり先を検討する仕組みを構築している	○	5点				
			ウ サービスC終了後に通いの場を紹介する取組等を行っている	○	5点				
			エ 取組結果を基に、改善・見直し等の取組を実施している(利用者がいない場合の対応含む)	○	5点				
③	通いの場への65歳以上の方の参加者数はどの程度か(【通いの場への参加率=通いの場の参加者実人数/高齢者人口】等) ア 週一回以上の通いの場への参加率が全国保険者の上位7割以上 イ 週一回以上の通いの場への参加率の変化率が全国保険者の上位7割以上 ウ 月一回以上の通いの場への参加率が全国保険者の上位7割以上 エ 月一回以上の通いの場への参加率の変化率が全国保険者の上位7割以上	前年度実績(調査時点)	この指標は厚労省にて決定		5点	10点			東京都回答項目
					0点	0点			
					5点	10点			
					0点	0点			
④	通いの場への参加促進のためのアウトリーチを実施しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	2021年度(予定)実施の状況評価	ア 参加促進に係る課題を検討している	○	5点	○ア〜エについては、取組内容を具体的に記載 ※取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可。	有識者からの助言を受け、70代を中心にアプローチすることが効果的と判断し、介護予防把握事業として、要介護・要支援認定を受けていない高齢者の生活上のリスクを把握するために実施。基本チェックリストを送付し、回答のあった方に対して介護予防事業を勧誘。返信のない方へ未把握者フォローとして往復はがきを送付し状況確認を実施。さらに返信がない方へ訪問している。介護予防事業のフレイル予防講習会に来た方に通いの場を紹介している。	継続実施。介護予防事業のフレイル予防講習会は全6回の講座。4回目に生活支援コーディネーターに参加してもらい、地域活動について紹介し、自身の地域参加について考える機会としている。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
			イ 通いの場に参加していない者の健康状態や生活状況、医療や介護サービスの利用状況等を把握している	○	5点				
			ウ 居宅等へのアウトリーチを実施している	○	5点				
			エ アウトリーチ結果を分析している	×	0点				

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当	
⑤	行政内の他部門や地域の多様な主体と連携し、介護予防の推進を図っているか。 【複数選択可】	行政内の他部門と連携して介護予防を進める体制を構築している	2021年度(予定)実施の状況を評価	○	5点	5点	○ア、ウについては、具体的な連携先と体制の概要を記載 ○イ、エについては、把握している取組・参加状況を具体的に記載 ※連携体制や取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 協働推進課と介護予防講座を実施。介護予防・フレイル予防の習慣をつけるため、アプリを活用するための講座。 イ 生活支援コーディネーターの作成するわが街サロンマップ等で子育て部門、障害部門の取組を確認している。 ウ アの講座の開催にあたり、大学生グループに協力してもらっている。	継続実施。 協働共創推進課にはアプリ内で使える寄付の仕組みで協力して頂いている。市と協定を結んでいる企業からの寄付金と受ける側の調整を担っている。 「エ 多様な主体が行う通いの場等の取組・参加状況を把握している」に向け、シニアクラブの活動、文化生涯学習課等の状況について確認していきたい。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		他部門が行う通いの場等の取組・参加状況を把握している		○	5点	5点				
		地域の多様な主体と連携して介護予防を進める体制を構築している		○	5点	5点				
		多様な主体が行う通いの場等の取組・参加状況を把握している		×	0点	0点				
⑥	介護予防と保健事業を一体的に実施しているか。 【複数選択可】 ※エを選択する場合、ア、イ、ウが該当していることが望ましい	通いの場における健康チェックや栄養指導・口腔ケア等を実施している	2021年度(予定)実施の状況を評価	×	0点	0点	○ア、イについては、取組内容や仕組みの概要を記載 ○ウ、エについては、取組内容及び事業評価を具体的に記載 ※ア～エの内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	検討中	R5.4月からの実施に向け、準備を進めている。 保険年金課、健康推進課、高齢者支援課で協議中。 高齢者支援課では、ポピュレーションアプローチとして地域リハビリテーション事業の中で地域の通いの場にリハ職が参加し健康教育を実施する予定。 現行の事業に参加者アンケートをプラスアウトカムを出す。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		通いの場での健康チェック等の結果を踏まえて医療機関等による早期介入(個別支援)につなげる仕組みを構築している		×	0点	0点				
		現役世代の生活習慣病対策と介護予防の取組について、連携した取組を実施している		×	0点	0点				
		事業効果の検証を行っている		×	0点	0点				
⑦	関係団体との連携による専門職の関与の仕組みが構築されているか。 【複数選択可】 ※エを選択する場合、ア、イ、ウが該当していることが望ましい	医師会等の関係団体と連携して介護予防を進める体制を構築している	2021年度(予定)実施の状況を評価	×	0点	0点	○アについては、具体的な連携先と取組の概要を記載 ○イについては、リハビリテーション専門職等が関与する仕組みを具体的に記載 ○ウについては、仕組みの概要を記載 ○エについては、取組内容を具体的に記載 ※連携の仕組みや取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可。	イ 地域リハビリテーション活動支援事業を実施。 ウ リハ職の活動(特にサービスC)の中で通いの場を紹介している。	継続実施	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		医師会等の関係団体との連携により、介護予防の場にリハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設け実行している(地域リハビリテーション活動支援事業等)		○	5点	5点				
		医療機関等が通いの場等への参加を促す仕組みを構築している		○	5点	5点				
		取組内容の改善・見直しを行っている		×	0点	0点				
⑧	社会福祉法人・医療法人・NPO・民間サービス等と連携した介護予防の取組を実施しているか。 【複数選択可】 【0%は分布を踏まえ、厚生労働省において設定】	多様な主体の提供する予防プログラムを通いの場等で提供している	ア、イについては、2021年度(予定)実施の状況を評価 ウについては、2020年度又は2021年度(予定)実施の状況を評価(複数年度契約で事業を実施している場合も含む) エについては、2020年度実績を評価	×	0点	0点	○ アについては、取組内容を具体的に記載 ○ イについては、取組内容を簡潔に記載し、概要がわかる資料を提出 ○ ウについては、事業内容を簡潔に記載し、委託内容がわかる資料を提出 ※ アについては、取組内容が記載された文書がある場合は、記載ではなく添付も可	検討中	介護予防のフレイル予防講座として「みんチャレ」講座を実施。三日坊主防止アプリを使い、5人1組で歩数を報告し合い、仲間と励まし合いながら交流するアプリ。その使い方講座を包括で実施。エーテラボへ委託し実施。講座のサポートとして、学生団体、高齢者のボランティアの方にも協力してもらっている。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		参加前後の心身・認知機能等のデータを管理・分析している		×	0点	0点				
		参加者の心身改善等の成果に応じて報酬を支払う成果連動型の委託を実施している		×	0点	0点				
		参加者の30%以上が心身・認知機能等を改善している		0	0点	0点				
⑨	介護予防におけるデータ活用により、介護予防の取組に係る課題の把握を行っているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	介護予防のケアプランや要介護認定の調査表等を確認している	2021年度(予定)実施の状況を評価	○	5点	5点	○ア～ウについては、使用したデータ及び取組内容について概要を記載 ○ウについては、外部からの意見を聞いている場合にはその名称を記載 ○エについては、何の施策にどのような反映を行ったのか概要を記載	ア サービスCを実施する中で、ケアプランを確認している。	継続実施 東京都ウェルネス実証に採択され、みんチャレ利用による介護予防効果をKDBデータと紐づけて試算予定(令和4年度)	高齢者支援課介護予防生活支援担当
		KDBや見える化システム等の利用を含め既存のデータベースやシステムを活用している		×	0点	0点				
		データを基に課題整理を行っている		×	0点	0点				
		課題整理を踏まえ施策に反映している		×	0点	0点				

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当		
⑩	<p>通いの場の参加者の健康状態等の把握・分析により、通いの場の施策検討を行っているか。</p> <p>【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい</p>	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 通いの場の参加者の健康状態を継続的・定量的に把握する体制が整っている。	×	0点	0点	<p>○アについては、体制の概要を記載 ○イについては、取組内容(手法や規模等)を具体的に記載 ○ウについては、外部機関の名称を記載 ○エについては、活用状況を具体的に記載</p> <p>※イ、エについては、取組、活用内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付可</p>	検討中	R5年度より一体的実施により、ポピュレーションアプローチとして、通いの場でのリハ職の関わりアンケートと測定を実施する予定。	高齢者支援課介護予防生活支援担当	
			イ 経年的な評価や分析等を行っている	×	0点	0点					
			ウ 行政以外の外部の意見を取り入れている	×	0点	0点					
			エ 分析結果を施策に活用している	×	0点	0点					
⑪	<p>自立支援・重度化防止に取り組む介護サービス事業所に対する評価を実施しているか。</p> <p>【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい</p>	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 仕組みの構築に向けた課題を整理している	×	0点	0点	<p>○検討した課題や実施している取組の内容を具体的に記載</p> <p>※検討した課題や取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付可</p>	検討中	検討中	高齢者支援課介護予防生活支援担当	
			イ 行政内外の関係者と協議している	×	0点	0点					
			ウ 評価を実施している	×	0点	0点					
			エ 改善・見直し等の取組を実施している	×	0点	0点					
⑫	<p>高齢者の社会参加を促すため個人へのインセンティブを付与しているか。</p> <p>【複数選択可】 ※イ、ウ、エを選択する場合、アが該当することが望ましい ※エを選択する場合、ウが該当することが望ましい</p> <p>【○割は分布を踏まえ、厚生労働省において設定】</p>	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 参加ポイント事業を実施している	○	5点	10点	<p>○アについては、取組内容の概要を記載</p> <p>57,637 ←事業の対象としている高齢者全体の人口</p> <p>93 ←参加している者の数を記載</p> <p>0.2 ←自動計算(単位:%)</p>	アについて、別紙参照	継続実施 介護予防推進センターで活動する「ひろめ隊」へ活動状況に応じてインセンティブを付与している。	高齢者支援課介護予防生活支援担当	
			イ 高齢者のポイント事業参加率が当該地域の高齢者全体の1割を超えている		0点	0点					0.2 ←自動計算(単位:%)
			ウ ポイント事業参加者の健康状態等のデータベース化を実施している	×	0点	0点					○ウについては、データベースの概要を記載
			エ ポイント事業参加者の10%以上が心身・認知機能等を維持改善している		0点	0点					←参加者総数記載
					0点	0点					←心身・認知機能等を改善した者の数を記載
					0点	0点					#DIV/0! ←自動計算(単位:%)

(6)生活支援体制の整備

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
①	生活支援コーディネーターを専従で配置しているか。	2021年4月1日時点における配置状況が対象		0点	0点	11 ←日常生活圏域数を記載		継続実施	高齢者支援課介護予防生活
						1 ←第1層、第2層に専従で配置されている生活支援コーディネーター数を記載			
②	生活支援コーディネーターに対して市町村としての支援を行っているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	ア 生活支援コーディネーターと協議の上で活動方針・内容を策定している イ 生活支援コーディネーターからの相談に対し、活用可能な制度等の情報を提供している ウ 活動の充実に向けた課題を整理している エ 生活支援コーディネーターの活動の進捗を定期的に確認し、支援内容を改善・見直している	2021年度(予定)実施の状況を評価	○ 5点 ○ 5点 ○ 5点 × 0点		○アについては、策定した内容の概要を記載 ○イについては、情報提供内容の概要を記載 ○ウについては、課題の内容を簡潔に記載 ○エについては、改善・見直しの内容を具体的に記載 ※エについて、改善内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 事業計画書を作成してもらい、確認している。生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置を推進する内容。 イ・ウ 東京都の事業運営アドバイザー派遣事業のヒアリングを受け、「企業・大学との連携」についての課題が見えてきたため、1層Coと市で協働推進課との話し合いを実施し、今後の連携についての対策と一緒に検討する。協働推進課の活動について、話し合いの中で情報提供をする。	継続実施 エについて、検討中。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
③	生活支援コーディネーターが地域ケア会議へ参加しているか。 【複数選択可】 ※イに該当すればアも得点	ア 半数以上の生活支援コーディネーターが1回以上参加している イ 全ての生活支援コーディネーターが1回以上参加している	2021年度(予定)実施の状況を評価	○ 5点 ○ 5点	5点 5点	12 ←生活支援コーディネーターの総数を記載(第1層及び第2層) 12 ←上記のうち地域ケア会議に1回以上出席した者の数を記載 100.0 ←自動計算(単位:%)		継続実施 令和4年度は短期集中予防サービスモデル事業に参加し、ケア会議にも積極的に参加した。	高齢者支援課介護予防生活支援担当
④	生活に困難を抱えた高齢者の住まいの確保・生活支援に関する支援を実施しているか。 【複数選択可】 ※ウを選択する場合、イが該当することが望ましい	ア 住まい・生活支援に関する相談窓口を設置している イ 生活に困難を抱えた高齢者等に対する住まいの確保と生活の一体的な支援を市町村として実施している ウ 実施結果を分析している エ 市町村において居住支援協議会を設置している	2021年度(予定)実施の状況を評価	○ 5点 ○ 5点 ○ 5点 ○ 5点		○アについては、設置日を記載 ○イについては、実施内容の概要を記載 ○ウについては、分析結果を具体的に記載 ○エについては、協議会の要綱等を提出 ※ウについて、分析内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 市役所開庁日、開庁時間 イ 住替支援(事業所と協定を結んでいる)、生活相談の実施 ウ 住替相談結果を一覧にし、結果の把握をしている。生活相談は個別の記録に記し、分析しながら支援をしている。 エ 添付資料のとおり	ア 令和3年度まで住宅課、高齢者支援課及び社会福祉協議会で住まい相談を別々に行っていた。令和4年度より住まいとそれに伴う生活支援に関する相談を、社会福祉協議会一本化し、令和4年4月1日から統一的な窓口を開設した。 イ 民間賃貸住宅への円滑な入居に係る相談業務及び入居後の地域とのつながりを支援する業務等を府中市居住支援協議会の構成員で福祉に関する専門的知見を有する府中市社会福祉協議会に設置し、居住支援から生活支援までのコーディネートを行っている。 ウ 前年度第1四半期と当該年度の第1四半期の実績を比較し、傾向を分析している。 エ 継続実施	住宅課
⑤	高齢者の移動に関する支援を実施しているか。 【複数選択可】 ※ア→イ→ウの順に該当することが望ましい	ア 高齢者の移動に関する課題を把握している イ 公共交通部局担当者等と課題を共有している ウ 介護予防・生活支援サービス事業による移動支援の創設に向けて検討の場を設けている エ 介護予防・生活支援サービス事業による移動支援を実施している	2021年度(予定)実施の状況を評価	× 0点 × 0点 × 0点 × 0点		○アについては、課題の概要を記載 ○イについては、共有の方法を記載 ○ウについては、検討の場の設置日を記載 ○エについては、実施の概要を記載	現状予定なし	本市では、公共交通部局が策定をすすめている地域公共交通計画において、高齢者等交通弱者への対策の方針も整理する予定である。	高齢者支援課介護予防生活支援担当 高齢者支援課地域包括ケア推進係

(7) 要介護認定の変化率・変化率の差による評価

指 標		時点	回答欄	推 進 配 点	支 援 配 点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担 当	
①	軽度【要介護1・2】 (平均要介護度の変化) 一定期間における、要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。 ア 変化率の状況 a 全保険者の上位6割 b 全保険者の上位4割 c 全保険者の上位3割 d 全保険者の上位1割 イ 変化率の差 a 全保険者の上位6割 b 全保険者の上位4割 c 全保険者の上位3割 d 全保険者の上位1割	この指標は厚労省にて決定	2020年1月 →2021年1 月の変化率	ア	0点	0点	/	/	/	介護保険課
					0点	0点				
					0点	0点				
					0点	0点				
			2020年1月 →2021年1 月 と2019年1月 →2020年1 月の変化率 の差	イ	0点	0点				
					0点	0点				
					0点	0点				
					0点	0点				
②	中重度【要介護3～5】 (平均要介護度の変化) 一定期間における、要介護認定者の平均要介護度の変化率の状況はどのようになっているか。 ア 変化率の状況 a 全保険者の上位6割 b 全保険者の上位4割 c 全保険者の上位3割 d 全保険者の上位1割 イ 変化率の差 a 全保険者の上位6割 b 全保険者の上位4割 c 全保険者の上位3割 d 全保険者の上位1割	この指標は厚労省にて決定	2020年1月 →2021年1 月の変化率	ア	15点	15点	/	/	/	介護保険課
					15点	15点				
					0点	0点				
					0点	0点				
			2020年1月 →2021年1 月 と2019年1月 →2020年1 月の変化率 の差	イ	0点	0点				
					0点	0点				
					0点	0点				
					0点	0点				
③	健康寿命延伸の実現状況 要介護2以上の認定率、認定率の変化率の状況 はどのようになっているか。 ア 認定率 a 全保険者の上位7割 b 全保険者の上位5割 c 全保険者の上位3割 d 全保険者の上位1割 イ 認定率の変化率 a 全保険者の上位7割 b 全保険者の上位5割 c 全保険者の上位3割 d 全保険者の上位1割	この指標は厚労省にて決定	2020年1月 の認定率	ア	0点	0点	/	/	/	介護保険課
					0点	0点				
					0点	0点				
					0点	0点				
			2020年1月と 2021年1月 の変化率	イ	15点	15点				
					15点	15点				
					15点	15点				
					0点	0点				

府中市	515	290
全国平均	462.4	298.2
都平均	489.7	289.5

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進

(1) 介護給付の適正化等

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当		
①	介護給付の適正化事業の主要5事業のうち、いくつ実施しているか。 【複数選択可】 ※ウに該当すればア・イも得点	ア 3事業	○	15点	/	主要5事業のうち実施している事業を記載(選択式)	/	ケアプラン点検も含め、継続実施	介護保険課介護保険制度担当 介護保険課介護認定係 介護保険課介護サービス係		
		イ 4事業	○	15点		○ 要介護認定の適正化					
		ウ 5事業	×	0点		× ケアプランの点検					
			○	0点		○ 住宅改修等の点検					
						○ 縦覧点検・医療情報との突合					
						○ 介護給付費通知					
②	ケアプラン点検をどの程度実施しているか。	ア 上位8割	/	0点	/	0	←実際の数値(ケアプラン点検数)を記載すること	/	引き続き、効果的なケアプラン点検の実施について検討し、実績を伸ばすことに努める。	介護保険課介護保険制度担当	
		イ 上位5割	/	0点							
		ウ 上位3割	/	0点							
		エ 上位1割	/	0点							
③	医療情報との突合結果をどの程度点検しているか。 (全保険者の上位を評価)	ア 上位8割	/	15点	/	126	←1年間の出力件数	/	継続実施	介護保険課介護サービス係	
		イ 上位5割	/	15点							←点検した件数
		ウ 上位3割	/	15点							←自動計算(単位:%)
		エ 上位1割	/	15点							100.0
④	縦覧点検 10 帳票のうち、いくつの帳票の点検を実施しているか。 【複数選択可】 ※ウに該当すればア、イも得点する仕組み	ア 3帳票	○	15点	/	全件実施している帳票名に○を入力!	帳票名	件数を入力!	継続実施	介護保険課介護サービス係	
		イ 4帳票	○	15点		○ 居宅介護支援請求におけるサービス実施状況一覧表					248
		ウ 5帳票以上	×	0点		× 重複請求縦覧チェック一覧表					
						× 算定期間回数制限チェック一覧表					
						○ 単独請求明細書における準受付審査チェック一覧表					
						○ 要介護認定期間の半数を超える短期入所受給者一覧表	68				
						× 入退所を繰り返す受給者縦覧一覧表					
						○ 居宅介護支援再請求等状況一覧表	570				
						× 月途中要介護状態変更受給者一覧表					
						○ 軽度の要介護者にかかる福祉用具貸与品目一覧表	8,674				
						× 独自報酬算定事業所一覧表					
⑤	福祉用具貸与や住宅改修の利用に関し、リハビリテーション専門職等が関与する仕組みを設けているか。 【複数選択可】 ※イを選択する場合、アが該当することが望ましい ※エを選択する場合、ウが該当することが望ましい	ア 地域ケア会議に、リハビリテーション専門職が出席し、福祉用具貸与計画(変更する場合を含む)の点検を行う仕組みがある	○	5点	/	○ア～エについては、仕組みの概要を記載	/	ア 地域ケア会議において、リハ職による福祉用具の利用状況や福祉用具貸与計画の確認点検を実施している。	継続実施	介護保険課介護サービス係	
		イ 貸与開始後、用具が適切に利用されているか否かをリハビリテーション専門職が点検する仕組みがある	×	0点							ウ 申請受理した住宅改修についてリハ職が、その専門的見地から審査・点検を実施している。
		ウ 被保険者から提出された住宅改修費支給申請書の市町村における審査の際に、専門職等により点検を行う仕組みがある	○	5点							エ リハ職による住宅改修物件への訪問点検を実施している。
		エ 住宅改修の実施前又は実施の際に、実際に改修を行う住宅をリハビリテーション専門職等が訪問し、点検を行う仕組みがある	○	5点							

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
⑥ 【複数選択可】 ※エを選択する場合、ア、イ、ウが該当することが望ましい	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅において、必要な指導を行っているか。	ア 家賃や介護保険外のサービス提供費用等を情報収集している	×	0点		○ア及びイについては、契約等の確認を含む、不適切な介護保険サービスの提供の可能性がある事例の情報収集(抽出)方法の概要を記載 ○ウについては、指針の内容を具体的に記載 ○エについては、取組内容の概要を記載 ※ウについて、内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	一部でも実施可能かを含め検討を行う。	今後も同様に取り組んでいく。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 介護サービス相談員等から情報収集している	×	0点					
		ウ 不適切な介護保険サービスの提供の可能性がある場合の検査・指導の指針がある	×	0点					
		エ ア〜ウ等を踏まえて、利用者のケアプラン点検を行っている。	×	0点					
⑦ 【複数選択可】 ※イに該当すればアも得点	所管する介護サービス事業所について、指定の有効期間中に一回(16.6%)以上の割合で実地指導を実施しているか。	ア 実地指導の実施率(実施数÷対象事業所数)が16.6%(6年に1回)以上	○	5点		28.8% ←実際の数値(実施数÷対象事業所数)を記載すること(単位:%) ○実地指導の実施率(2020年度又は2018~2020年度の3カ年の平均値のいずれを使ったか記載)(実施数÷対象事業所数)	2018~2020年度の3カ年の平均値を使用 2018年度(36÷141=25.5%) 2019年度(52÷140=37.1%) 2020年度(27÷113=23.9%) 3カ年平均=28.8% ※2020年度は当初計画において27件計画するも、コロナにより未実施あり	国が新たに示した「介護保険施設等監査指針」等に基づき実地指導を実施することで、指導の標準化・効率化等を図っていく。	地域福祉推進課指導検査係
		イ 実地指導の実施率(実施数÷対象事業所数)が33.3%(3年に1回)以上	×	0点					

(2)介護人材の確保

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当
① 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	介護人材の確保に向け、介護サービス事業者・教育関係者等と連携して行う取組等の実施	ア 介護サービス事業者・教育関係者等との連携体制の構築	○	5点		○アについては、連携体制の概要を簡潔に記載 ○イ及びエについては、取組内容を具体的に記載 ○ウについては、課題内容の概要を記載 ※イ、エについて、取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 市立中学校の職場体験事業において、指定管理者制度で運営している市立特別養護老人ホームへの中学生の受け入れについて、教育委員会と連携する体制はある。 イ アの体制はあるが、令和2、3年度はコロナ禍のため、実施なし。	コロナ禍を考慮し、状況に応じて再開可能か検討する。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 取組等の実施	×	0点					
		ウ 取組結果を踏まえた、確保に関する課題整理	×	0点					
		エ 改善・見直し等の取組の実施	×	0点					
② 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	介護人材の定着に向けた取組の実施	ア 必要機関との連携体制の構築	○	5点		○アについては、連携体制の概要を簡潔に記載 ○イ及びエについては、取組内容を具体的に記載 ○ウについては、課題内容の概要を記載 ※イ、エについて、取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア・イ 介護職員初任者研修事業(補助額8万円)において、介護サービス、障害福祉サービス事業所への周知する体制を構築している。	同様に実施する。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 取組の実施	○	5点					
		ウ 取組結果を踏まえた、定着に関する課題整理	×	0点					
		エ 改善・見直し等の取組の実施	×	0点					
③ 【複数選択可】 ※ア→イ→ウ→エの順に該当することが望ましい	多様な人材・介護助手等の元高齢者の活躍に向けた取組を実施しているか	ア 現状分析・課題整理をしている	○	5点		○アについては、現状・課題の概要を簡潔に記載 ○イについては、関係団体先の名称を記載 ○ウについては、実施取組内容を具体的に一つ記載 ○エについては、改善・見直しの内容を具体的に記載 ※ウ、エについて、取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 第8期府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(P90)にて、人材の確保の課題や必要性を整理している。 イ 関係団体の意見までは聞いていない。 ウ 高齢者生活支援員養成研修にて、マッチングを行っている。	同様に実施するとともに改善・見直しについても検討する。	介護保険課介護保険制度担当
		イ 関係団体の意見を聞いている	×	0点					
		ウ 多様な人材・介護助手等の元高齢者の活躍に向けた取組を実施している	○	5点					
		エ 改善・見直し等の取組の実施	×	0点					

指 標		時点	回答欄	推進配点	支援配点	市の対応状況の記載事項	市の対応状況	今後の予定など	担当	
④	高齢者の就労的活動への参加に向けた取組をしているか 【複数選択可】 ※エを選択する場合、ア、イ、ウが該当することが望ましい	2021年度(予定)の取組が対象	ア 就労的活動の場や機会を確保している	○	5点	5点	○ア、イについては、取組、把握方法の概要を記載 ○ウについては、取組内容を具体的に記載 ○エについては、把握している参加者数の経年変化を記載 ※ウについて、取組内容を記載した文書がある場合は、記載ではなく添付も可	ア 社会福祉協議会が運営するボランティアセンターを活用し、多様な人材の確保・育成を図っている。 イ ボランティアセンターより経年で把握している。 ウ ボランティアセンターにおいて、相談や情報提供をすることで様々な力をいかした幅広い年齢層の活動を支援している。 エ コロナ禍のため、実績は上がっていない。	同様に実施するとともに改善・見直しについても検討する。	介護保険課介護保険制度担当
			イ 参加率を経年で把握している	○	5点	5点				
			ウ 参加率を増やすための支援を行っている	○	5点	5点				
			エ 参加率が上がっている	×	0点	0点				

⑤	文書負担軽減に係る取組を実施しているか。 【複数選択可】	2021年度(予定)実施の状況を評価	ア 押印の見直しによる簡素化	Ⅲ(2)⑨計算用シートを参照	2点	○ 実施している取組を調査票に記載(選択式)		カ キ以外、同様に実施する。 カ キ 実施可能か検討する。 ケについては継続実施。	介護保険課介護保険制度担当 地域福祉推進課指導検査係
			イ 提出方法(持参・郵送等)の見直しによる簡素化		1点				
			ウ 人員配置に関する添付資料の簡素化		1点				
			エ 施設・設備・備品等の写真の簡素化		1点				
			オ 運営規程等への職員の員数の記載方法の簡素化		2点				
			カ 変更届の標準添付書類の対応		0点				
			キ 更新申請における提出書類の簡素化		0点				
			ク 併設事業所の申請における提出書類の簡素化		2点				
			ケ 実地指導の「標準化・効率化指針」を踏まえた標準化		5点				
			コ 指定申請書等の様式例の活用やホームページにおけるダウンロード等		4点				

府中市	198	35
全国平均	66.0	18.5
都平均	84.8	23.6

府中市小計	803	355
全国平均	723.6	335.5
都平均	758.5	347.6

府中市総計	1,158
全国平均	1,059.2
都平均	1,106.1

(点)